

「市民アダプト事業」による海岸林再生

市長短信
H29年5月25日

1 市民協働で守る「白砂青松」の糸島

■松枯れによる被害拡大

➤松枯れによる被害拡大

江戸時代に植栽されたとされる海岸の松林が、松枯れで次々と失われた。

平成22年から急激に被害が拡大（全体の約28%、約5万6千万本に及ぶ）

➤行政と市民団体による対策

- ・行政→「糸島市海岸林保全協議会」を設置、保全方針・活動方針を検討・決定
伐倒駆除や代替木等の検討を進める。
- ・市民→「里浜つなぎ隊」による勉強会・枝拾い、Webでの呼びかけなど

⇒市民と行政が協働で行う取組を模索

■「糸島市アダプト事業」スタート

➤平成26年から市民協働で松林の保全活動を行う「アダプト事業」を導入

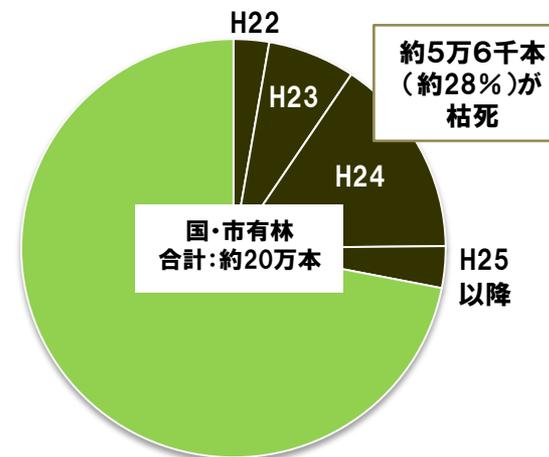
- ・ボランティア団体や企業等が、区画を受け持ち、清掃活動等を実施。
- ・現在、12団体が登録（運営委託先：松林保存会）

福岡県宅地建物取引業協会博多支部	社会福祉法人福岡あけぼの会
糸島ライオンズクラブ	糸島ロータリークラブ
NTT西日本福岡グループ	Booking.com福岡オフィス
芥屋の海辺を守る会	福岡地区明るい社会づくり運動協議会
株式会社福岡銀行糸島支店	西部電気工業グループ
火山里山畑作会議	里浜つなぎ隊

⇒皆様のご協力で清掃や松苗の植樹も進み、少しずつ美しい風景が戻りつつある。

⇒今後も市民の皆様と協働で美しい景観を守っていきたい。

松枯れの状況(H22以降)



【アダプト事業の取組紹介】

■中学生とのアダプト事業

⇒志摩中学校の生徒約30人による
アダプト事業の取組を実施

◎日時:6月24日(土)9時～13時

◎場所:志摩芥屋幣の浜

◎内容:区画内の清掃

◎面積:3,560㎡

住友理工・九州大学との三者協定の成果

2 糸島市・九州大学・住友理工 連携の成果を報告

■住友理工・九州大学との三者協定

➤協定締結：平成27年12月15日

➤取組内容：平成28年4月、糸島市健康福祉センター「ふれあい」に「九州大学ヘルスケアシステムLABO糸島」（通称：ふれあいらボ）を設置。

各機関が持つ資源を結びつけ、地域包括ケアシステムの推進を始めとする健康、医療、介護に関する地域福祉の向上、研究教育活動の推進、技術開発や新産業の創出を進めている。

■成果報告会を開催

■名称：1回三者協定成果報告会

■日時：6月29日（木）15時30分～17時15分

■場所：健康福祉センター「ふれあい」1階健診・研修室

■内容：（1）平成28年度活動報告

①活動実績概要

②ワン・ツウ・スポーツ（健康増進全般）における取組

③生きがいデイ教室（高齢者介護予防）における取組

④歩行アシスト・スーツ実用化に向けた取組

（2）平成29年度活動計画

①事業計画概要

②高齢者フレイル疫学研究調査計画



▲ 三者協定調印式(H27.12.15)



▲ 歩行アシストスーツ(左)、
胸骨圧迫訓練評価システム「しんのすけくん」(右)

「糸島市ミニアンテナショップ」事業がスタート

3 東京に『糸島市ミニアンテナショップ』を展開

■県内自治体初となる「ミニアンテナショップ」

➤東京（千代田区）で糸島の産品を取り扱う民間事業者と連携し、「ミニアンテナショップ事業」を開始。

【主な活動内容】

- ①糸島市産品の店舗販売
- ②観光等情報の発信
- ③市への人脈紹介

⇒首都圏での情報収集・発信や本市への誘客促進に資する取組を実施。

➤「糸島市ミニアンテナショップ」の特徴

- ◎首都圏で、糸島市の情報や物品に常時接触できる拠点ができる。
- ◎都内の民間事業者（小売店舗）と市が連携して展開する事業。
- ◎直営に比べ桁違いに安価に実施できる。
- ◎市に有益な東京の人脈が紹介されてくる。

➤契約業者「メゾンデリス三番町」について

- ◎九州・糸島食材の小売店舗。2016年春にオープン。
- ◎奥様が博多出身で、糸島市にも何度も足を運ぶほどの糸島ファン。
- ◎おいしい食材の宝庫として、本市を「奇跡の大地」として紹介し、こだわりの商品展開を行う。
- ◎糸島の食材や、惣菜やテイクアウトドリンク等を販売している。

⇒今後、効果を検証しながら、改善を加えて事業展開を行う。



店舗内観(左上、下)、オーナーの能登夫妻(右)
糸島のこだわりの産品が並ぶ

